

令和4年度 北海道中学校バドミントン大会 参加細則

1. 全般的事項

- ① サービス高を 1.15 ㍍に固定するルールを適用する。ポストにコート面から 1.15 ㍍高さのところにテープでマークを付け、そのマークを基準にコート面から 1.15 ㍍の高さのところに水平面をイメージし、判定する。
- ② 試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが、時間短縮のため流し込み方式で進める。時間・コートの変更がありえるので放送に注意し、すみやかにコートに入ること。
- ③ 試合が連続する場合は、前の試合の後、10 分間を確保して次の試合を開始する。
- ④ 入場について、団体戦及び個人戦ともに、トーナメントで上に記載されている方が主審の左側に入ること。
- ⑤ 競技の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上位の背面中央部には、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項に従って校名及び姓の表示をすること。ゼッケンは、四隅を留めることとする（背面表示がある上衣は、ゼッケンで全て覆い隠すこと）。
- ⑥ 表彰、入退場、試合の挨拶の際は、マナーとしてウェア（上衣）の裾は下衣の中に入れること。
- ⑦ 試合中の水分補給は、基本的に主審が汗拭きを認めた際に、試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。飲み物はスクイズボトル（水筒）に入れること。フロア内では、試合中の水分補給以外の飲食は認めない。
- ⑧ 今大会はコートサイドにカゴを用意しない。交換用ラケット（ケースから出しておく）、タオル、スクイズボトル、滑り止めなどはまとめてバッグに入れ、コートサイド（主審側）に置くこと。また、その他の物はコーチングシートで保管すること。
- ⑨ ハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止とする。氷のうは、ソフトタイプの保冷バッグに入れ、コーチングシートで保管すること。
- ⑩ うちわについては、インターバル時のみ使用を認める。ラリー中に使用しないこと。叩くなどの音を出す行為は、いかなる場合でも禁止とする。
- ⑪ 団体、個人ともにコーチングシートは1席のみとする。コーチングシートの椅子は、チェンジエンスごとに持ち歩かず、そのまま置いておくこと。
- ⑫ ベンチまたはコーチ席に入るときの服装（監督、コーチ）は、公認審判員規定第5条第12項第8号に従い、試合にふさわしい服装で臨むこと。マネージャー（教員、生徒）および選手がコーチ席に座る場合もこれに準じる。
- ⑬ 審判の判定に対して疑問があるときは、個人戦の場合は当該プレーヤー、団体戦の場合は当該プレーヤー、または監督が質問できる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。（大会運営規程第6章第36条）
- ⑭ 原則として試合に負けたチームの監督、外部指導者（コーチ）、マネージャー（教員）が主審をすることになるので、試合終了後、直ちに本部席まで来て下さい。また、敗者選手には線審をお願いします（単は1名、複は2名）。なお、得点係と、単の場合のもう1名の線審は主管地区協会が担当します。
- ⑮ 試合中のけが等の応急処置は主催者および医療役員が行うが、その後の処置は各自の責任とする。
- ⑯ フラッシュや、ライトを点灯させての撮影、および、競技フロア内での撮影は禁止とする。
- ⑰ 別紙「新型コロナウイルス感染症対策の競技・運営上の注意」と、プログラムの「レフェリー（競技役員長）から競技審判上の確認と連絡」を熟読すること。
- ⑱ 今大会は新型コロナウイルス感染防止対策として無観客とする。

2. 団体戦に関する事項

- ① 監督は当該学校の校長・教員であること。団体戦における外部指導者（コーチ）は、当該学校の校長が認めた者とする。マネージャーは当該学校の教員または生徒とする。
- ② 各コートのコーチングシートに入れるのは、登録された監督、コーチ、マネージャー、団体戦に登録されている選手のいずれか1名とし、必ずIDを付けることとする。インターバル中にコートでアドバイスできるのは1名以内とする。
- ③ オーダー交換は、対戦相手が決まり次第、放送にて案内する。定刻（指定のあった時刻）までにオーダー用紙の提出がないときは、棄権と見なす場合がある。
- ④ 試合のコールがされたら直接コートに集合し、主審が来てから挨拶をする。トーナメントで上に記載されている方が主審の左側に入ること。
- ⑤ チームごとの練習ではなく、各マッチそれぞれで2分間行う。団体戦の挨拶が終了後、複1から順にコートに入り、挨拶、トスが終了してから主審の合図で2分間行うこととする。双方とも必ず練習を行うものとする。単の場合は対戦選手と、複はパートナー同士での練習とする。
- ⑥ 2コートを同時に使用しての並行試合を行う。試合の勝敗は複1・単・複2のうち、いずれか2ポイントを先取したチームの勝ちとする。進行の関係で3コート同時に試合を行うこともある。この場合は監督に確認の上で実施する。また、どちらかのチームが初戦の場合は第2複まで行い、それ以降は（2マッチ先取）後、打ち切る。

3. 個人戦に関する事項

- ① コーチングシートに入れるのは、監督、外部指導者（コーチ）、マネージャーまたは団体登録選手のうち1名以内（男女別）とし、必ずIDを付ける。また、インターバル中のアドバイスも同様とする。
- ② 個人戦のマッチ前練習は、どちらか初回戦のみ2分間行うことができる。単の場合は対戦選手と、複はパートナー同士での練習とする。